

【 第 1 回入間市学校統合委員会（西武地区中学校） 】

西武地区中学校統合

～ 新しい時代の学習環境の整備と
地域とともにある学校を目指して ～

令和4年7月29日
入間市教育委員会



【目次】

○ 学校統合の経緯、西武地区中学校の統合スケジュールについて

- 1 学校統合の経緯 P.1
- 2 西武地区中学校統合の流れ P.3
- 3 統合までの各スケジュール P.4

○ 新しい時代の学び舎としてのグランドデザインについて

- 4 新しい時代の学び舎としてのグランドデザイン P.5
 - 社会情勢の変化、令和の日本型学校教育 P.5
 - 新しい時代の学び舎のイメージ P.6
 - 新しい時代の学び舎に求められるもの P.7

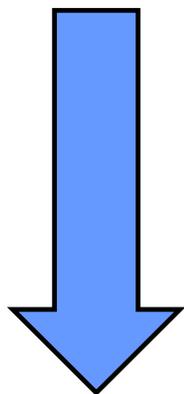
○ 学校統合委員会、協議事項について

- 5 入間市学校統合委員会（西武地区中学校） P.14
- 6 協議の流れ P.15
- 7 令和4年度の統合委員会スケジュールと主な協議事項 P.16
- 8 通学方法と交通安全対策 P.17
- 9 統合後の学校の名称 P.22
- 10 校章・校歌 P.23
- 11 制服・体操着 P.24
- 12 施設に設置する機能 P.26
- 13 生徒の事前交流 P.27
- 14 情報の発信 P.28

学校統合の経緯、西武地区中学校の統合スケジュールについて

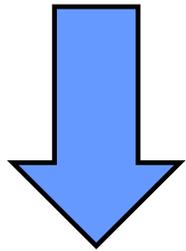


- 平成31年3月「入間市公共施設マネジメント事業計画」策定
 - 市域を9地区に分け、1地区に小中学校各1校とする計画
 - 西武地区は、西武中学校の場所で居ながら建替え、統合の計画



計画が地域に与える影響及び課題についての住民意見を聴取するため、『入間市公共施設マネジメント事業計画学校統合地区検討会議(西武地区)』を設置。(令和元・2年度)
会議では、2年間で10回の検討(会議)を重ね、計画に対する地域住民の意見を取りまとめた。

- 令和3年3月 学校統合地区検討会議での検討結果(報告書)
 - 野田中学校に一時移転・統合、その間に建替え、全体で新校舎へ移転
 - 登下校時の通学路の安全対策を講じることが必要



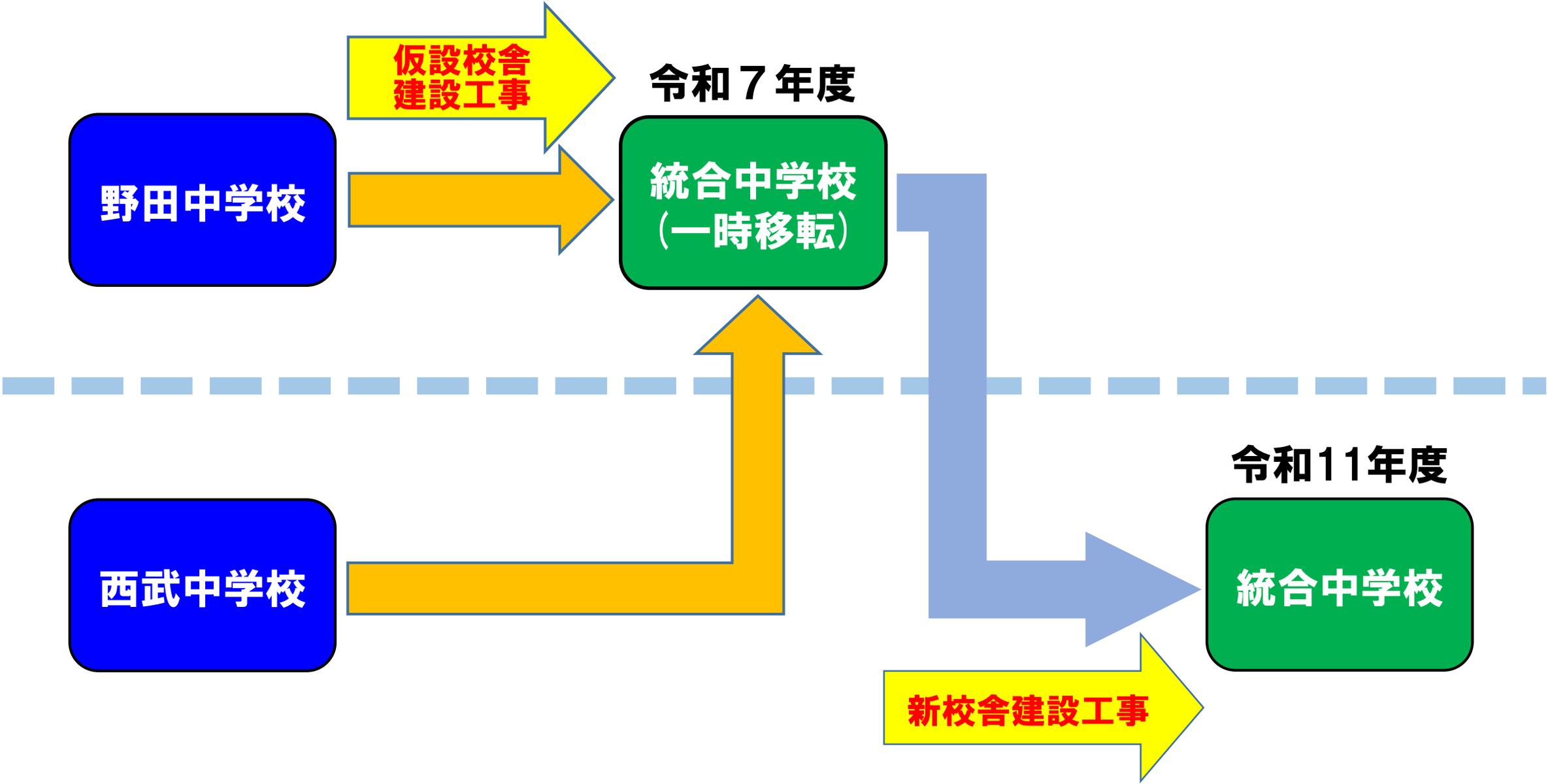
学校統合地区検討会議での検討結果を踏まえ、市としての方針を協議。

- 令和3年10月 市として、西武地区中学校の統合方針を決定
 - 令和7年度に野田中学校へ一時移転して統合する。
 - 一時移転中に西武中学校を建替える。
 - 令和11年度に新校舎へ移転する。

〔一時移転とした主な理由〕

- ・ 生徒数の減少による教育活動の制約等を早期に解決するため。
- ・ 新校舎の工事現場における生徒の安全を確保するため。
- ・ 新校舎の建設費用の削減が見込めるため。

2 西武地区中学校統合の流れ



3 統合までの各スケジュール

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
<p>統合委員会での課題協議</p>							
<p>〔野田中学校への一時移転スケジュール〕</p>							
	<p>生徒の交流</p>		<p>一時移転 統 合</p>				
	<p>統合計画策定</p>	<p>統合準備 委員会設置</p>					
	<p>野田中仮設校舎建設工事等</p>						
<p>〔西武中学校建替スケジュール〕</p>							
		<p>新校舎の設計</p>		<p>新校舎の建設工事</p>			<p>新校舎 移 転</p>
		<p>新校舎 市民説明会</p>					
		<p>既存校舎解体</p>					

★閲覧される皆様へ

「新しい時代の学び舎としてのグランドデザイン」については、これからの学校に必要なものをまとめたものですが、資料に掲載する設備及び機能については、入間市教育委員会として、可能な限り実現できるよう努めてまいります。

新しい時代の学び舎としてのグランドデザイン

※ グランドデザインとは

入間市公共施設マネジメント事業計画に基づき、30年間にわたって各地区の小中学校を統合していくにあたり、新しい時代の学び舎を整備していくために必要となるものをまとめたものです。



社会情勢の変化

- 社会の在り方が劇的に変わる「**Society5.0**」の到来
- 新型コロナウイルスの感染拡大など先行き不透明な「**予測困難な時代**」



〔出典：内閣府〕

社会や生活が激しく変化する時代を生き抜く子どもの育成が必要

令和の日本型学校教育

- 学校のICT環境が整備され、1人1台端末環境のもと、全ての生徒の可能性を引き出す**個別最適な学び**と**協働的な学び**の一体的な充実



○ 新しい時代の学び舎のイメージ

すべての生徒の可能性を引き出す
個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

健やかな
学習・生活
空間

柔軟で
創造的な
学習空間

地域と
ともにある
共創空間

安心・安全な教育環境

環境問題に配慮した
教育環境



○ 新しい時代の学び舎に求められるもの

『個別最適な学びと協働的な学びができる教室』

〔教室等の広さ・形、大型モニター、木質化〕

『快適な生活空間』〔トイレの洋式化、エアコン、バリアフリー〕

『地域とともにある学校』〔会議室(多目的室)、体育館の空調設備〕

『環境に配慮した学校』〔太陽光発電など再生可能エネルギーの導入〕

○ 個別最適な学びと協働的な学びができる教室(1)

子どもたちが、タブレット端末や大型モニターなどのICT機器の活用による「学び合い」ができる空間を目指します。

【現在の授業風景】



東町中学校

【イメージ】



藤沢中学校



〔出典：総務省〕

○ 個別最適な学びと協働的な学びができる教室(2)

校舎の木質化等による「こころのゆとり」ができる空間を目指します。

【イメージ】





○ 快適な生活空間(1)

すべての子どもたちが快適に学校生活を送ることができる空間を目指します。



〔手洗い場の自動水栓〕



〔大便器の洋式化（洗浄機能付き便座）〕



〔多機能トイレ〕

藤沢中学校



○ 快適な生活空間 (2)

すべての子どもたちが快適に学校生活を送ることができる空間を目指します。



〔昇降口スロープ〕



〔エレベーター〕

武蔵中学校



○ 地域とともにある学校

地域の特色を生かした開かれた学校づくりを進め、地域と連携した教育力の向上を目指すとともに、災害発生時の避難所機能の向上を目指します。

【イメージ】



〔地域の方々が集う学校づくり〕



〔地域の避難所としての防災機能の強化〕
〔空調設備のある体育館〕

○ 環境に配慮した学校

環境問題は、世界共通の緊急かつ重要な課題となっています。

入間市では、2050年ゼロカーボンシティの実現に向け、環境負荷の少ない「人と環境が共生する」"まち"を次世代へつなぐため、SDGsを踏まえた取組を推進しています。

学校施設についても、環境負荷の低減や自然との共生を考慮した整備をするとともに、環境教育の教材として活用するため、エコスクールの実現を目指します。



〔太陽光発電パネル〕



〔太陽光発電モニター〕



〔北側採光、照明のLED化〕

〔出典：学校施設の在り方に関する調査
研究協力者会議報告書（文部科学省）〕

武蔵中学校

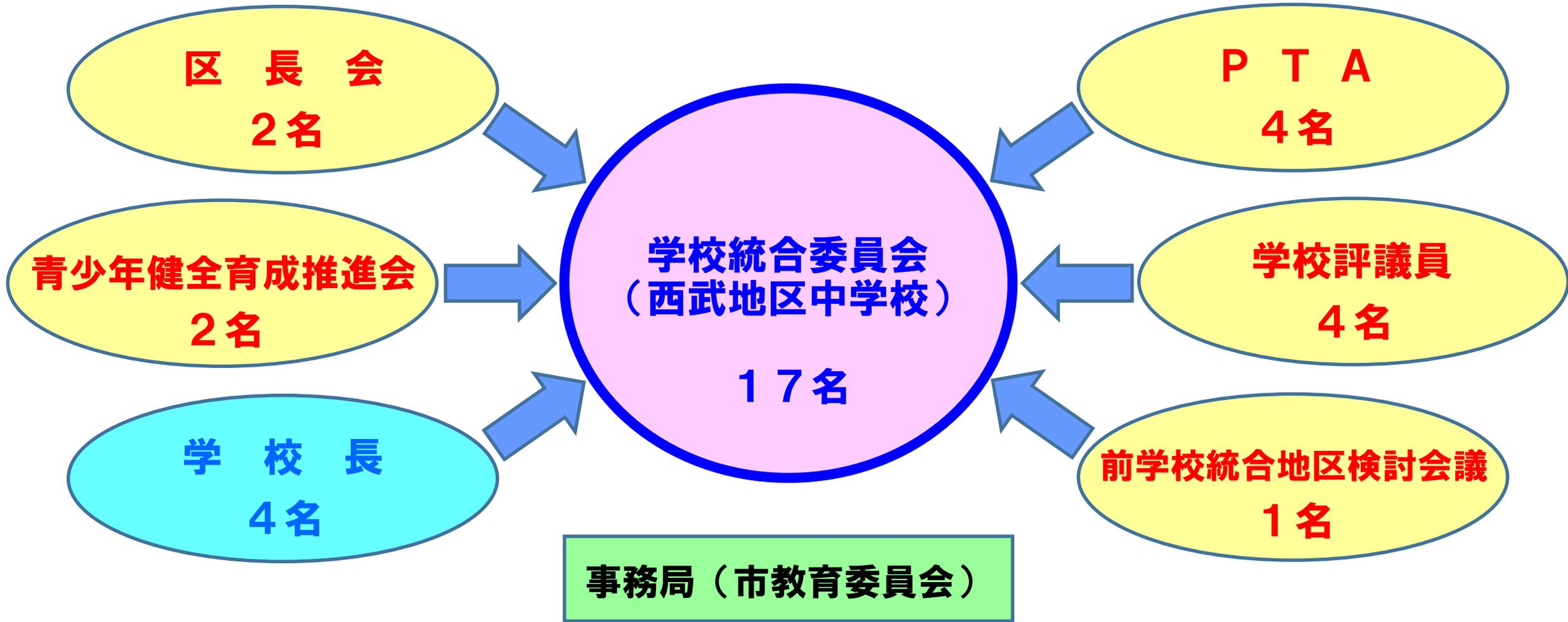
★ 閲覧される皆様へ

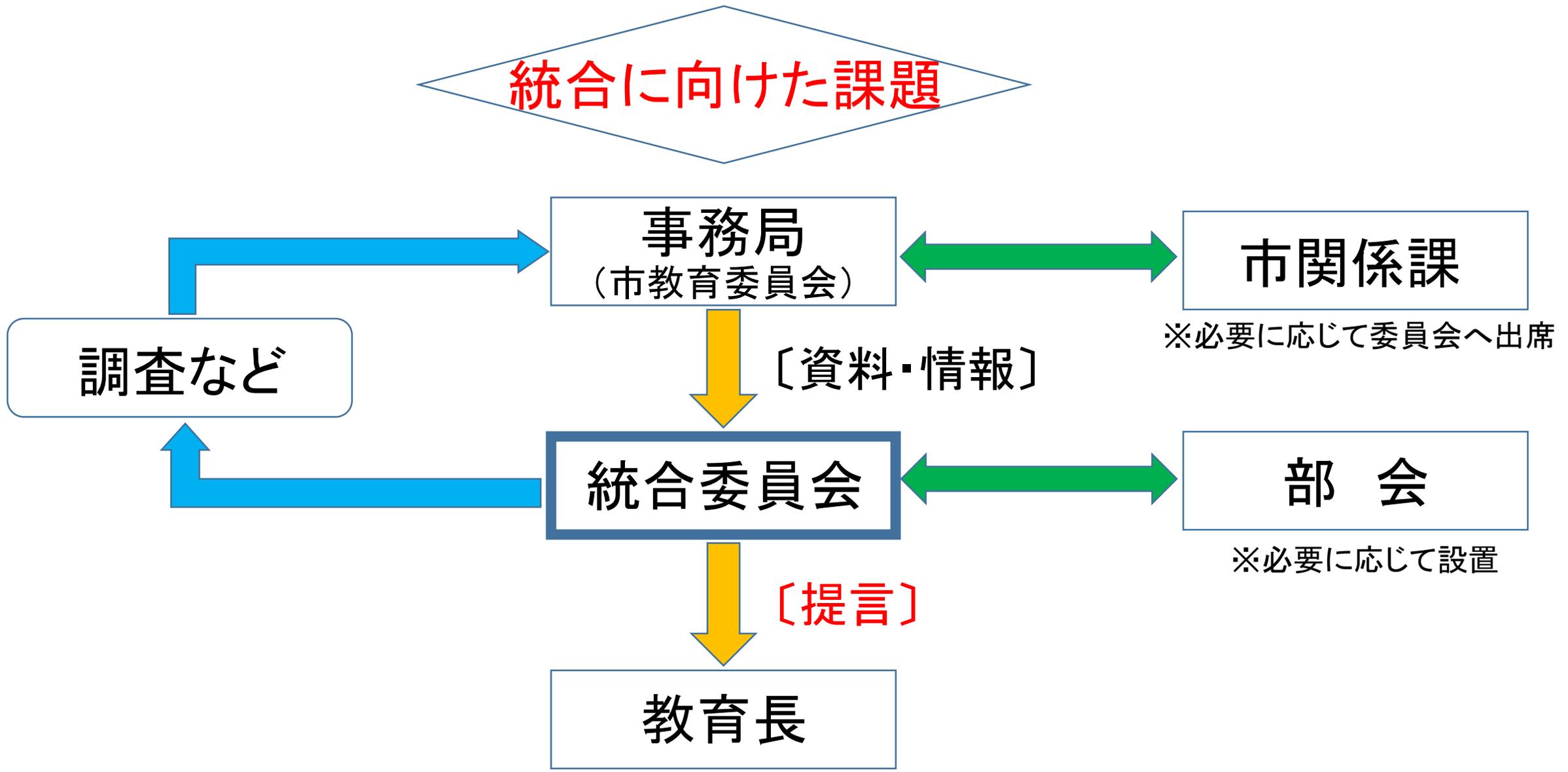
協議事項について

- ・「統合後の学校の名称」については、もともと地区の中学校が1つであった頃の「西武中学校」を校名にすることを基本と考えています。
- ・「校章・校歌」、「制服・体操着」については、現在のものをそのまま使用することも含めて、検討します。
- ・「生徒の事前交流」については、学校が検討・決定するため、委員会での協議はしません。なお、地域として、事前交流を進めるために必要なものは、委員会で検討します。

学校統合委員会、協議事項について

※ 議題(2)「委員会スケジュール及び主な課題について」の説明になります。







年 度	4年度											
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校統合委員会 (西武地区中学校)				第1回 委員会		第2回 委員会		第3回 委員会		第4回 委員会		第5回 委員会

主な協議事項等

- 通学方法と交通安全対策
- 統合後の学校の名称
- 校章・校歌
- 制服・体操着
- 施設に設置する機能
- 生徒の事前交流

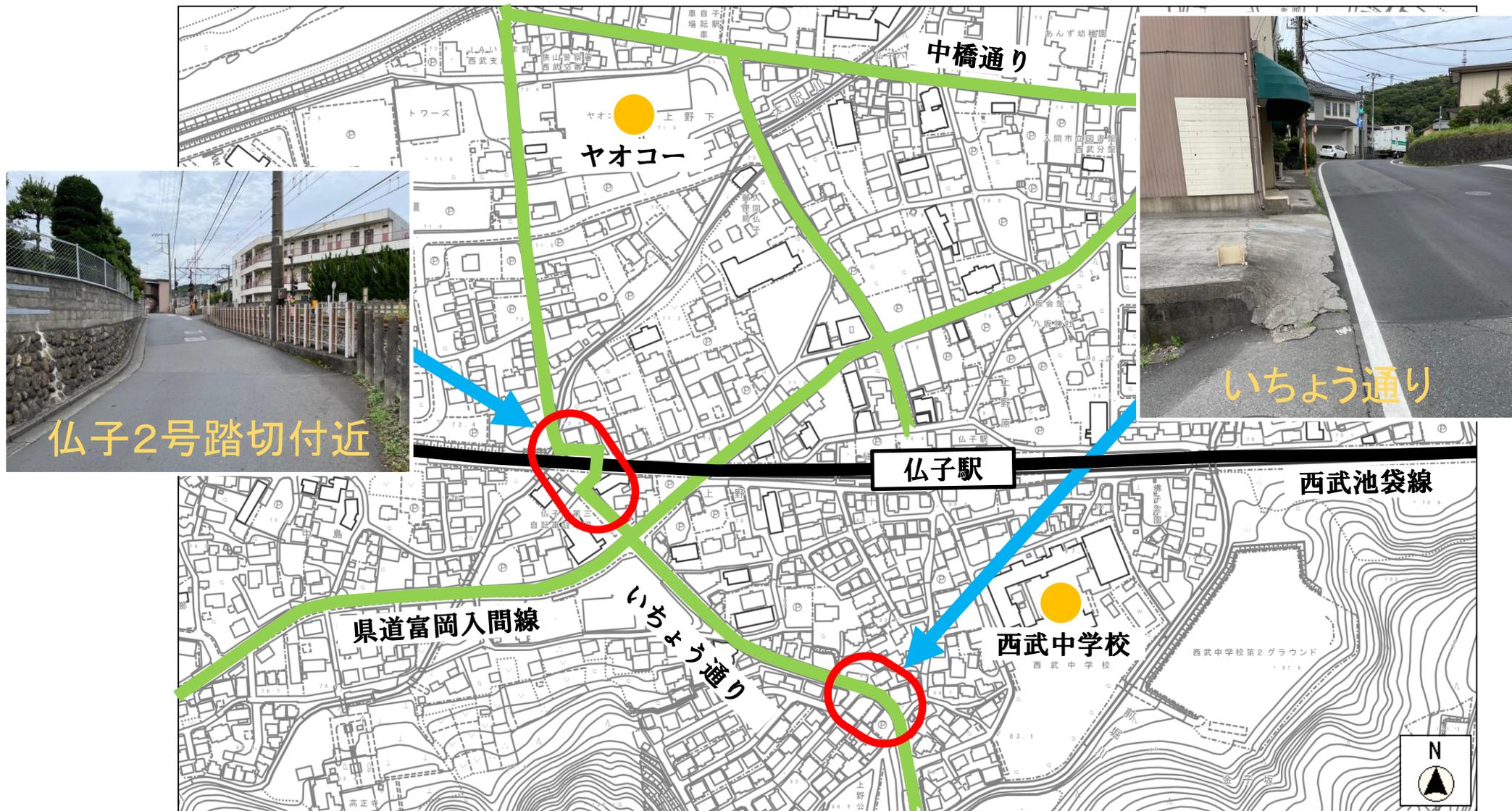


○ 学校統合地区検討会議での通学路に関する主な課題(1)





○ 学校統合地区検討会議での通学路に関する主な課題(2)





○ 通学方法

徒歩通学を基本

※自転車、電車・バスの利用の検討

○ 交通安全対策

〔短期的対策〕

危険の少ない通学路の設定

警戒標識の設置

交通指導員の配置

生徒に対する交通安全教育

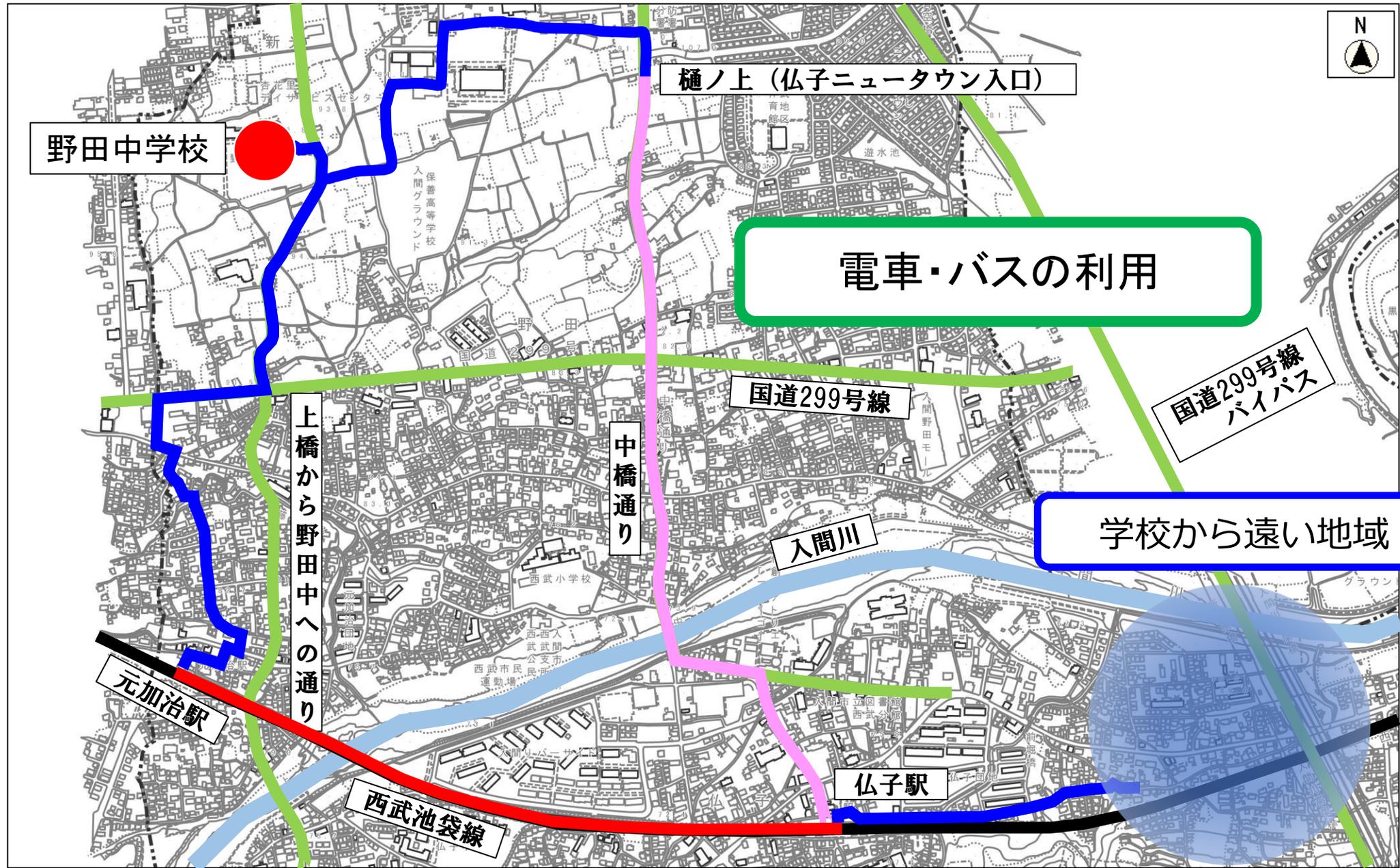
〔長期的対策〕

道路等の改良・拡幅

信号機の設置

ガードレール等の設置

8 通学方法と交通安全対策 (4)



野田中学校

樋ノ上 (仏子ニュータウン入口)

電車・バスの利用

国道299号線

国道299号線
バイパス

学校から遠い地域

元加治駅

上橋から野田中への通り

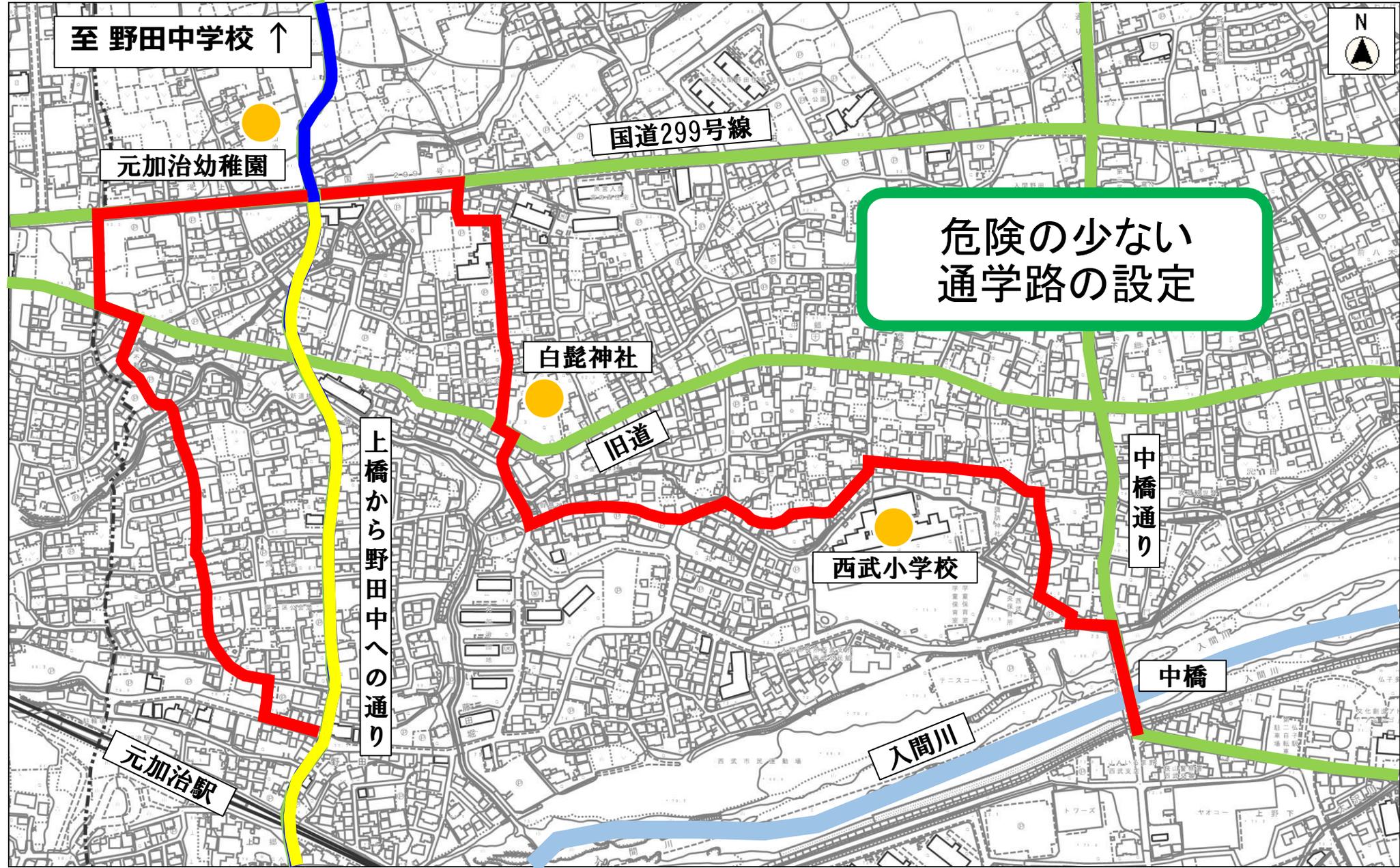
中橋通り

入間川

仏子駅

西武池袋線

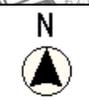
8 通学方法と交通安全対策 (5)



至 野田中学校 ↑

元加治幼稚園

国道299号線



危険の少ない
通学路の設定

白髭神社

旧道

上橋から野田中への通り

西武小学校

中橋通り

中橋

元加治駅

入間川



○ 市内中学校の名称

設置時の町村名



豊岡中、金子中、藤沢中、
東金子中、武蔵中

設置場所の丁町字名等



向原中、黒須中、
上藤沢中、東町中

○ 西武地区では

『西武中学校』



設置時の町名〔西武町〕

『野田中学校』



設置場所の大字名〔大字野田〕



○ 現在の校章

西武中学校



まっすぐ、素直に育ててほしい、
社会の多方面に羽ばたき、活
躍することを祈念したイメージ

野田中学校



「あげひばり」と「お茶の葉」を
イメージ

○ 現在の校歌

歌詞は「学校から望む風景」や「学び舎」など



○ 現在の制服

西武中学校



野田中学校





○ 統合後の制服・体操着

- ① 機能性(着心地、動きやすさ)
- ② 経済性(価格、耐久性、自宅で洗濯可能なもの)
- ③ デザイン性(男女兼用のものなど)



- 地域の方々が集うのに必要な機能
（コミュニティ・スクール、地域学校協働活動など）
 - ① 会議室（多目的室）
 - ② 会議室に必要なもの

- 地域の避難所として必要な機能
 - ① 体育館への空調設備（電源を含む）
 - ② 防災倉庫

学校統合に向けての事前交流

授業

生徒会

部活動

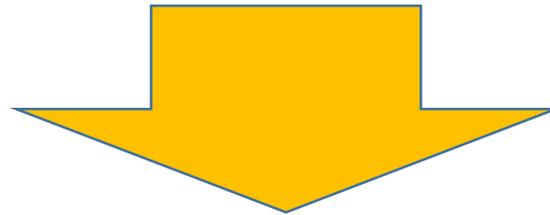
修学旅行

学校紹介





地区の皆様への情報発信を積極的に行っていきます。



- 委員会の協議内容は、市公式ホームページにて掲載
- スマートフォンアプリを利用して保護者に発信